

2011 年度アフリカ地域陸稲品種選定技術コースが終了

2011 年度アフリカ地域陸稲品種選定技術コースは JICA 筑波における 7 月 25 日から 11 月 1 日までの日本国内での研修とフィリピンの国際稲研究所 (IRRI) における 11 月 3 日から 11 月 9 日までの在外補完研修を終了しました。

JICA 筑波では品種選定試験や種子生産実習などの実習、関連分野の講義や見学などを通して、陸稲品種選定に係わる基礎的技術を習得しました。IRRI における在外補完研修では、IRRI の陸稲育種に係わる研究成果や帰国後の活動に活用できる IRRI のリソースを知ることができました。



陸稲品種「ネリカ4」の収穫実習 (JICA 筑波) : コンバイン・ハーベスターとバインダーを用いて収穫しました。



茨城県生物工学研究所の岡野主任による生育調査法の指導 (JICA 筑波) : 研修員は茨城県の研究所で実際におこなわれている調査法を学び、自分の担当する品種の調査を出穂期から収穫期まで調査しました。



元茨城県穀物改良協会原種生産部長の須賀氏による種子生産圃場における異株抜きの実習（JICA 筑波）



品種選定試験における収量構成要素の調査（JICA 筑波）：各研修員が2品種ずつ担当し品種特性を調査しました。



研修旅行



IRRI での在外補完研修：ジーンバンクや圃場などを見学しました。